



Sunday  
7/3

# 多久東部少年13人が快挙！134チームの頂点へ 高円宮賜杯 第36回全日本学童軟式野球佐賀県大会初優勝

## まちのわだい

まちの話題をお寄せください!!  
情報課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX 75-2110



7月3日、みどりの森県営球場で行われた、高円宮賜杯第36回全日本学童軟式野球佐賀県大会決勝戦。多久東部少年が4-2で三根ボーイズに見事勝利し、全国大会出場の切符を手に入れました。

今年の大会には、県内134チームが参加。5月14日から県内野球場を会場に佐賀県代表を目指し熱戦が繰り広げられました。

多久東部少年の部員数は13人（6年生6人、4年生3人、3年生4人）。少ない部員で、またレギュラーの3人が4年生と、若いチームが試合を重ねるごとに大きく成長しました。特にバッテリーと4年生の成長は目を見張るものがあり、優勝の大きな原動力となりました。

キャプテンの柴田剛志くんは「佐賀県大会での勢いのまま全国大会でも勝ち進んでいきたいです」と意気込みを語りました。

「正直、優勝するとは…。勝つごとに本当の“チーム”になった」と話す中村茂樹監督。

大会は全国から51チームが参加し、8月7日から13日までの7日間の日程で東京で行われます。

全国約12,000チームの頂点を目指し、大舞台での活躍を期待します！みなさんの応援をお願いします。



▲多久東部少年のみなさん



▲優勝が決まり、喜ぶ選手たち



▲決勝戦で、打席に立つ柴田くん

### 県内初！

## 災害時におけるゴルフ場施設の利用に関する協定締結式

Tuesday  
6/28

多久市役所で「災害時におけるゴルフ場施設の利用に関する協定締結式」を行いました。

県内初の試みとなるこの協定は、災害発生時にゴルフ場施設を緊急避難施設や被災者支援施設として利用し、市民の安心安全確保を図ることを目的としています。

今回協定を結んだゴルフ場は、西多久町の佐賀クラシックゴルフ倶楽部、北多久町の天山カントリー倶楽部、天山カントリー倶楽部北コース、多久ゴルフクラブで、利用できる主な施設は、クラブハウス、駐車場、浴場などで飲料水や食料の提供も行うこととなっています。また、ゴルフ場のグリーンを利用して、臨時ヘリポートの設置も検討しています。

タニミズ企画株式会社佐賀クラシックゴルフ倶楽部の高木一哉支配人は、「大きな災害があった時に、たくさんの人にご利用していただければ」と話し、株式会社天山カントリー倶楽部の谷口祐代表取締役は「災害の際にはみなさんのお役に立てれば」と話しました。



▲今回調印式を行った谷口代表取締役（写真左）横尾市長（写真中央）高木支配人（写真右）